

原告、会員に
お届け下さい

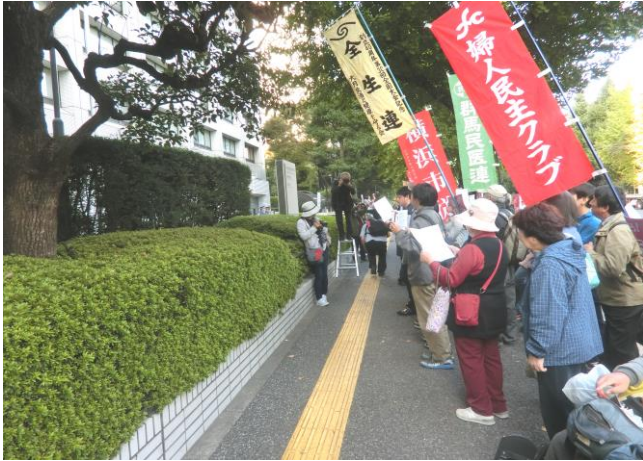
2018年11月24日 204号

生活保護制度を良くする会

ニュース

事務局 道生連
電話 011-736-1722
ファックス 011-736-1688
メール seihoyokusurukai@herb.ocn.ne.jp

集会参加者で厚労省を包囲し、社会保障の削減許すな・憲法25条を守れ！とコール



集会では生活保護、年金、障害者、介護など11分野から「聞いてください、私たちの声を！」のアピールが行われました。

集会後、厚生労働省包囲と国会議員要請に分かれ、北海道の4人は厚労省包囲行動に参加しました（写真。左）歩道には集会参加者が道一杯に並び、宣伝カーから「この夏は電気代を気にしながらエアコンを使いました。夏季加算を求めます。人間らしく生きたいのです！」など、次々と訴えが行われました。

「25条集会」に参加した、吉田伸さんの感想を紹介します。

今回2回目の参加です。

3年前に参加した時は、裁判の原告になったばかりで、わかってはいても、心構えができてなくて何となく参加していました。

今回は、裁判で陳述したり、街頭宣伝に参加したりしてきました。その中で、街頭宣伝に参加した時に、なかなか、通行中の人に聞いてもらえないことがあって、札幌と全国ではどんな違いがあるのかと思って参加しました。

集会では、年金者組合の人や病院の人も発言していました。前回も、いろんな人が発言していたかもしれませんが、気が付きませんでした。「今回の引き下げは大きな問題だ、当事者が声を挙げないといけない！」と思いました。

また、厚生労働省の前でアピールした時は、職員の人が素通りしたり、「またやってるな」という目でみていたと感じました。全国から

こんなにたくさんの方が集まっているのに、もう少しみんなの気持ちをわかって欲しい。建物から出てきて話しを聞くとかあってもいいんじゃないか、何て冷たい！と思いました。国会議員も二人しか来ませんでした。もっとアピールが必要なのか、これからどうしたらいいのかと思いました。

札幌で話しを聞いてもらえないと思っていましたが、札幌の方がまだわかってもらえているのかと思いました。

これからは、自分も思いを伝えられるようになりたいと思いました。今までは、議員とあって話す機会があっても話しがまとまらず上手く伝えられませんでした。これからは、何を話したいか準備して伝えられるようになりたいと思いました

（写真・左から吉田さん、高坂さん、曾我さん）。

